

○委員長（鈴木庄市）

続きまして、議案第３１号 平成２５年度開成町水道事業会計予算を議題とします。細部説明を担当課長に求めます。

上下水道課長。

○上下水道課長（石塚和己）

それでは、予算書の３２９ページをお開きください。議案第３１号 平成２５年度開成町水道事業会計予算。

総則、第１条、平成２５年度開成町水道事業会計予算は、次に定めるところによる。

業務の予定量、第２条、業務の予定量は、次のとおりとする。

１項、給水装置個数６，７８０個、２項、年間総給水量１９７万９，２５０立方メートル、３項、１日平均給水量５，４２３立方メートル、４項、主な建設改良事業費１億２，７７９万５，０００円、イ、拡張事業費４，３１１万円、ロ、建設改良事業費８，４６８万５，０００円。

収益的収入及び支出、第３条、収益的収入及び支出の予定額は次のとおりと定める。

収入、第１款水道事業収益２億５９６万８，０００円、そのうち第１項営業収益２億５３２万５，０００円、第２項、営業外収益６４万３，０００円、支出としまして、第１１款水道事業費用２億５９６万８，０００円、第１項営業費用１億７，１５３万７，０００円、第２項営業外費用３，２３８万円、第３項予備費２５１万１，０００円、資本的収入及び支出、第４条、資本的収入及び支出の予定額は次のとおりと定める。資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額１億２，０８９万円は、過年度分損益勘定留保資金１億１，５８８万５，０００円、当年度分資本的収支調整額５００万５，０００円で補填するものとする。

収入としまして、第２款資本的収入７，３１７万円、第１項分担金３７７万円、第２項負担金１８０万円、第５項企業債５，２６０万円、第６項その他資本的収入、１，５００万円、支出といたしまして、第１２款資本的支出１億９，４０６万円、第１項建設改良費４，３１１万円、第２項増設改良費８，４６８万５，０００円、第３項企業債償還金６，３２６万５，０００円、第４項予備費３００万円。

次のページをお願いいたします。企業債、第５条、起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的、排水施設整備事業、限度額５，２６０万円、起債の方法、利率償還の方法は、記載のとおりでございます。

一時借入金、第６条、一時借入金の限度額は２，０００万円と定める。

議会の議決を得なければ流用することのできない経費、第７条、次に掲げる経費については、その経費の金額をそれ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を得なければならない。１項職員の給与費４，１７１万６，０００円。

たな卸資産の購入限度額、第8条、たな卸資産の購入限度額は765万9,000円と定める。

平成25年3月5日提出、開成町長、府川裕一。

水道事業会計の歳入につきましては、前年に比べて、14.1%の減になっております。

平成25年度開成町歳入歳出予算書説明資料の70ページをお開きください。予算書では、344、345ページになります。歳入でございます。収益的収入です。水道事業収益、営業収益、給水収益の水道使用料は、水道使用料収益として、約6,769件の6基分を計上をいたしました。前年に比べて、575万2,000円の増額となっております。

受託工事収益の給水工事加入金は、受託給水工事加入金として、口径13ミリが54件、口径20ミリを66件、口径40ミリを1件、増径を12件見込んでおります。前年に比べ、735万円の増でございます。

その他の営業収益の手数料は、前年に比べ、89万6,000円の増額となっております。内訳といたしまして、給水工事設計審査388件、開始・中止1,392件、給水工事指定申請1件、下水道料金徴収料778万9,000円などの手数料を見込んでおります。検査手数料等は、実績に基づいて計上いたしました。

続いて、2段開けまして、他会計負担金になります。消火栓維持管理費として368基の管理費として計上しております。営業外収益でございますが、預金利息と地下埋設用地使用料で、あわせて前年と比べ8万7,000円の増でございます。

続きまして、資本的収入になります。資本的収入、分担金の配水管布設分担金は、下水道工事に伴う配水管布設替工事3件に係る分担金になります。前年と比べ61万円の増額でございます。

負担金の他会計負担金は、消火栓設置2カ所、消火栓ボックス交換1カ所と蓋交換1カ所に係る負担金で、前年と比べ100万円の増額となります。

企業債は、11工事の配水管布設工事等の配水施設施設整備事業の起債でございます。

その他の資本的収入は、建設改良積立金の取り崩しで、1,500万円でございます。

次の72ページをお開きください。予算書では、346、347ページになります。歳出になります。前年度比7.3%の減になります。まず、収益的支出でございます。水道事業費用、営業費用の原水浄水配水及び給水費は、原水浄水配水及び給水に関する経費で、水質検査、滅菌装置、保守点検及び電気設備保安等の委託、漏水当番経費や給・配水管の維持管理費、高台第一第二浄水場緊急遮断弁点検、高台第二浄水場次亜塩素ポンプオーバーホール工事等を行うものでございます。前年に比べ、1,120万4,000円の減額でございます。

受託工事費は、舗装復旧、緊急用工事費、給水工事等の受託給水工事に関する経費の支払いをするものでございます。

総係費は、水道事業運営上全般に要する経費で、テレメータの回線利用による浄水場施設の監視や現在使用している新企業会計システム保守料等でございます。前年に比べ、１１２万２，０００円の減でございます。

有形固定資産償却費は、有形固定資産の減価償却経費でございます。資産減耗費は、有形固定資産の除却経費でございます。有形固定資産償却費、資産減耗費につきましては、実質の歳出はありません。

その他の営業費用は、項目設定でございます。営業外費用に入ります。支払利息は、水道事業債４７件に係る利子返済を行う費用でございます。前年に比べ１８０万３，０００円の減でございます。消費税は、水道事業に係る消費税、地方消費税の確定申告、中間申告を行う費用で、前年と比べ同額の２６０万９，０００でございます。

雑支出は、盗難や災害などによる少額の営業経費の支払いを行うもので、前年と同額でございます。予備費２０５万１，０００円でございます。

続きまして、資本的支出になります。資本的支出、建設改良費、拡張事業費は、南部地区土地区画整理区域内配水管布設工事、県道整備に伴う配水管布設工事、池嶋橋架けかえに伴う配水管布設工事、県道７２０号線整備に伴う配水管布設工事、日産給水管設置工事の合計１，２６２．５メートルと、高台第二浄水場螺旋階段改修工事等を行う費用等でございます。前年に比べ、１億２１０万５，０００円の減額となります。

増設改良費、配水施設工事費は、下水道工事に伴う配水管布設替え工事３件、１４１メートルと、消火栓設置２カ所、消火栓ボックス交換工事１カ所、消火栓蓋交換１カ所及び浄水場改修工事８件等を行うものでございます。

メータ費は、８年経過した給水メータの交換工事９２１カ所及び給水メータ１，０２７個の購入を行う費用でございます。企業債償還金は、水道事業債４１件に係る元金返済分で、前年に比べ１１４万９，０００円の増額でございます。予備費は、昨年と同額の３００万円を計上しております。

恐れ入りますが、予算書の３３５ページをお願いいたします。ここに平成２５年度開成町水道事業会計資金計画を載せてあります。資金計画といたしましては、当年度予定額として受入資金は１の事業収益から９の前年度繰越金までで７億２，３５８万４，０００円、支払資金は１の事業費から５の企業債償還金までで２億９，７３６万３，０００円、差し引き４億２，６２２万１，０００円でございます。

続きまして、３３８ページをお願いいたします。平成２４年度開成町水道事業予定貸借対照表（税抜き）。平成２５年３月３１日付の予定でございます。

資産の部といたしまして、固定資産の（１）有形固定資産がイの土地からトの建設仮勘定までで、有形固定資産合計３０億７，００９万１，５８４円。（２）無形固定資産は、電話加入権といたしまして２１万３，０４０円。無形固定資産合計が２１万３，０４０円。（３）投資その他の資産といたしまして、リサイクル預託金としまして９，１３０円、固定資産合計としまして３０億７，０３１万３，７５４

円。

2の流動資産としまして、(1)の現金預金から(3)の貯蔵品までで、流動資産合計が4億7,788万6,612円、資産合計として、35億4,820万366円でございます。

次の339ページをごらんください。負債の部としまして、3の固定負債が(1)の引当金として修繕引当金が300万円、固定負債合計として300万円。

4の流動負債が、(2)の未払金として467万7,500円、流動負債合計が467万7,500円で、負債合計は767万7,500円でございます。

資本の部といたしまして、5の資本金は、自己資本金がイの固有資本金からハの出資金までで12億2,936万2,698円。(2)の借入資本金は、企業債が12億771万2,996円、資本金合計としまして、24億3,707万5,694円。

6の剰余金は、(1)の資本剰余金が、イの国県補助金とロの他会計補助金で合わせまして3億6,124万4,272円。(2)のその他の資本剰余金としましてイの他会計負担金からハの受贈財産評価額までで6億6,037万8,754円、資本剰余金合計としまして10億2,162万3,026円。(3)の利益剰余金としまして、イの建設改良積立金が2,000万円、ロの減債積立金が2,711万円、ハの当年度未処分利益剰余金が3,471万4,146円、利益剰余金合計として、8,182万4,146円、剰余金合計が11億344万7,172円、資本合計としまして35億4,052万2,866円、負債資本合計としまして35億4,820万366円でございます。

次の340ページをお願いいたします。平成25年度開成町水道事業予定貸借対照表(税抜き)。平成26年3月31日の予定でございます。資産の部としまして、固定資産は、(1)有形固定資産が、イの土地からトの建設仮勘定までで、有形固定資産合計として30億8,608万3,635円。(2)無形固定資産は、イの電話加入権で21万3,040円、(3)投資その他の資産のイ、リサイクル預託金9,130円、その結果、固定資産合計として30億8,630万5,805円、イの流動資産といたしまして、(1)現金預金から(3)の貯蔵品までで、流動資産合計として4億5,495万5,898円、資産合計としまして35億4,126万1,703円。

右のページの負債の部に入りまして、3の固定負債といたしまして、(1)引当金は、修繕引当金で300万円、固定負債合計は300万円、4の流動負債は、(2)未払金として575万3,991円、流動負債合計は、575万3,991円、負債合計は875万3,991円でございます。

次の資本の部では、5の資本金は、(1)自己資本金として、イの固有資本金からハの出資金までで、12億4,436万2,698円。

(2)借入資本金としまして、企業債で11億9,704万7,996円、資本金合計としまして、24億4,141万694円、6の剰余金は、(1)資本剰余

金では、イの国県補助金とロの他会計補助金で3億6,124万4,272円。

(2) その他の資本剰余金としましては、イの他会計負担金からハの受贈財産評価額までで6億6,568万3,517円、資本剰余金合計としまして10億2,692万7,789円。(3) 利益剰余金としましては、イの建設改良積立金が2,000万円、ロの減債積立金が2,801万円、ハの当年度未処分利益剰余金が1,615万9,229円、利益剰余金合計としまして6,416万9,229円、剰余金合計といたしまして10億9,109万7,018円、資本合計が35億3,250万7,712円、負債資本合計としまして35億4,126万1,703円となります。

次のページをお願いします。平成24年度開成町水道事業損益計算書(税抜き)見込み、平成24年4月1日から平成25年3月31日まででございます。

1の営業収益としまして、(1)給水収益から(3)その他の営業収益までで1億8,221万431円。2の営業費用としまして、(1)原水浄水配水及び給水費から(6)の材料売却原価までで1億4,821万2,168円、営業利益としまして3,399万8,263円、3の営業外収益としまして、(1)受取利息及び配当金から(4)の雑収益までで、55万6,000円。4の営業外費用としまして、支払い利息が3,128万7,239円でございます。したがって、営業外費用は、マイナス3,073万1,239円となります。

5の特別損失としまして、(1)過年度損益修正損として、1件4万2,036円、(2)その他特別損失は13名29基分の9万9,282円を不納欠損処分をする予定でございます。その結果、14万1,318円の損失となります。

計上分利益といたしまして、312万5,706円となり、当年度純利益として、312万5,706円を見込んでおります。前年度繰越利益剰余金として3,158万8,440円、当年度未処分利益剰余金として3,471万4,146円の見込みとなります。

以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

○委員長(鈴木庄市)

ちょっと訂正があるからお待ちください。

○上下水道課長(石塚和己)

すみません。字の訂正がございますので、訂正していただきたいと思います。予算書説明資料の71ページ、ちょうど中ほどになるのですが、消火栓の「化」が間違えておりまして、「火」に訂正していただきたいと思います。大変申しわけありませんでした。

○委員長(鈴木庄市)

以上で議案第31号 平成25年度開成町水道事業会計予算についての説明を修了いたします。

以上で本日の日程は終了いたしました。

次回は、3月12日9時より開催いたします。

これにて、本日の予算特別委員会は散会いたします。大変ご苦労さまでございました。

午後 3 時 4 4 分 散会